News of The Japanese Weekend School of New York

BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
NewRochelle, NY 10801
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成 26 年 12 月 12 日　No.17
発行責任者：校長　櫻井郁男

蛍雪の功・・・W 校で停電がありました

停電は、午後 1 時 45 分頃から 1 時間ほど続きました。大きな混乱は起きませんでしたが、このような時には、日頃の準備や指導の成果が表れます。さすがに中高等は落ち着いてハプニングを楽しんでいましたし、経験のある担任は生徒の「遊び心」を逆手にとって、目をつむっても学べる指導等をしていました。

私は彼らの様子から「蛍雪の功」という言葉を思い出しました。そうそう「蛍雪時代」の受験生は皆さんの中におられますか・・・?



4 校　作品展

<u>前置きはほどほどにして・・・</u>

① 停電になって先ず行うことは、停電の理由と差し迫った危険の確認です。例えば「学校の変電設備が火災」でしたら、即避難が必要になります。
「本部」では柳沢主幹・補佐の吉崎さん・小倉さんが状況把握をし、教務の小野先生は状況把握の巡回とともに、カストディアンに指示し停電の原因も確認しました。**「本部」とはこの場合 W 校では校長と上記の教職員です。**

②学校の外も停電・・・この地域全体が停電と確認できましたので<u>避難は必要がありません。</u>

③先生方と全校の子供たちへの情報伝達と指示が必要です。しかし緊急一斉放送もできません。(これは現地校の課題ですが国内ではあり得ないことですから、事務所スタッフを通して改善を要請することになります)。

④そこで、トランシバー(ウォーキートーキー)を使用しました。トランシバーは事務所スタッフや廊下当番の皆様には、いつも電源を入れていただいております。教員は自らの管轄・管理上で緊急事態が起きたときに、事務スタッフに緊急連絡をして対応を要請してきます。

⑤校長は、落ち着いて<u>**「普段通り」授業を進めるよう指示**</u>をいたしました。ここでの課題は、**「非常時にはトランシバーの電源を入れる」との約束事が実行されたか否か**を、**本部では確認できないことです。**従って一斉連絡をした直後に本部スタッフが各階に連絡と、停電に伴って発生する状況確認をしました。

⑥その後の対応です。
・階段の非常灯が一部つかず、北側の階段が暗すぎるので事務室前の階段を使っていただ
くように配慮いたしました。
・トイレの水バルブが電動式のところが多いで、ペダル式のトイレを解放しました。(この情報の周知は徹底できなかったようです。)
・トイレが真っ暗・・・懐中電灯の用意と、光が差し込むトイレに案内しました。
・ここでカフェテリアにおられる保護者の皆様にも状況と判断をお知らせに行きました。

⑦校長は、授業の打ち切り・早めの下校措置は選択肢にはならないと判断いたしました。
・・・⑤の時点での指示がこのまま生きることになります。

⑧周辺で重訂が発生しているとのこと、「お迎え」が大幅に遅れる場合も考え、ニューロシェルの事務所にも状況を伝え、場合によっては支援要請をすることも配慮いたしました。

このような動きをしている内に、バッと明かりがつき、何事もなかったように 6 時間目が続きましたが、反省点もあります。「あのとき」の子供たちの様子、各担任のとった行動等を確認しつつ、今後の「そのとき」に備えてまいります。

今回、校長は大きな声で 1 件だけ指示をしました。停電直後、学級の半数以上の児童が廊下を走ってきました。そこで、「停電になると、トイレに行きたくなる子は行きなさい」・・・変な言い回しですが・・・・・全員教室に戻りました。